

第333回

日文研フォーラム

講師◎李 市峻 崇実大学校日語日文学科(韓国) 教授/日文研外国人研究員

天人女房譚の地域性と国際性
—韓国との比較を通じて

コメンテーター◎荒木 浩 日文研 副所長

司会◎呉座 勇一 日文研 助教

2020年1月14日(火) 十四時〜十六時(開場十三時四十分頃)

ハートピア京都3階大会議室 入場無料・先着一八〇名まで

申込不要(十三時十五分頃より整理券配布)

International Research Center for Japanese Studies
The 333rd Nichibunken Forum

主催:大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



日文研フォーラム

天人女房譚の地域性と国際性
—韓国との比較を通じて—

Regionality and Internationality in Swan Maiden Tales:
By Way of Comparison between Japan and Korea

天人女房譚は、人間の男が天女の羽衣を盗み結婚するが、結局、天女は羽衣を取り戻し天上に帰るという異類婚姻譚の一つです。日本では「羽衣伝説」ともいわれ、代表的な話群として、天上に上がった男が天女の父から難題を課せられる話群と、七夕の起源を説明する話群が挙げられます。

本報告ではまず、『風土記』を始め近代以前の主な天人女房譚の資料を紹介し、天人女房譚が語られた背景について考えてみます。それから、天人女房譚と類似した韓国の昔話を紹介し、両国の話の類型およびモチーフの比較を試みたいと思います。

講師 **李 市俊** 崇実大学校 日語日文学科(韓国) 教授 / 日文研 外国人研究員



1991年韓国外国語大学校日本語科卒業。1999年7月東京大学大学院総合文化研究科博士号取得。2000年より崇実大学校日語日文学科教授。2019年8月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。専門分野は、日本説話文学。主要業績に『「今昔物語集」本朝部の研究—その構成と論理を中心に』(大河書房、2005)、『文学研究の窓をあける』(共著 石井正巳・錦仁、笠間書院、2018)、『「文学史の時空」(シリーズ 日本文学の展望を拓く)』(共著 小峯和明(監修)・宮腰直人(編集)、笠間書院、2017)、『植民地における日本語朝鮮説話集に関する基礎的研究2』(共著 李市俊他、J&C、2016)、『韓国語訳 今昔物語集(本朝部)』(共訳 小峯和明(解説)・李市俊・金泰光(訳)、セチャン出版社、2016)などがある。

コメンテーター **荒木 浩** 日文研 副所長



1986年京都大学大学院博士後期課程中退。博士(文学、京都大学)。大阪大学大学院教授を経て、2010年4月より現職。総合研究大学院大学教授を兼任。国文学研究資料館併任助教授、コロンビア大学客員研究員、ネルー大学、チュリヒ大学、ベトナム国家大学、チュラーロンコーン大学、ソフィア大学の客員教授などを歴任。専門分野は日本文学。主要業績に『徒然草への途』(勉誠出版、2016)、『かくして「源氏物語」が誕生する』(笠間書院、2014)、『説話集の構想と意匠』(勉誠出版、2012)、『夢と表象』(編著、勉誠出版、2017)、『夢見る日本文化のパラダイム』(編著、法蔵館、2015)、『中世の随筆』(編著、竹林舎、2014)などがある。京都新聞に「文遊回廊」を連載中。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)に滞在中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、交流の一助となることを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

http://www.nichibun.ac.jp/



日文研



京都府立総合社会福祉会館 **ハートピア京都**

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車

第334回 日文研フォーラム 2020年 2月14日(金) 14:00~16:00